

本当に私が  
この身を  
差し出しさえ  
すれば

黄葉ちゃんには  
何もしないのね

もじ

いいわ……  
おじさんの  
好きにして



油断させて  
二度とこんな  
愚かな要求  
出来ないように  
ポコポコに――

むむむ……  
すまん黒姫  
我もお前も……  
力が使えんかも

どうやらこの男  
妙な能力を  
持っているらしい

ええ!?





ま…  
待って…あつ  
こんな状況  
撮影はだ…めッ  
駄目よ…んう♥  
おじさん…  
たらあ…ッ♥



うう…  
ヌメヌメして  
気持ち悪い…  
…のに



見なご…  
こんな太った  
気持ち悪い  
中年のおじさん  
なんか  
絶対に  
負けないん  
だからあッ



やらしい事が  
苦手だった  
小鳥遊黒姫だが

もう…もう  
分かった  
…からあ♡  
エッチな  
おじさんには  
勝てないって  
分かったから♡

…え!?  
ん…言う!  
言うわッ

だからもっと  
…もっと♡  
ズボズボ  
してえ♡

おぼろおぼろ

ズボズボ

さ…さつきまで  
処女だった…私  
小鳥遊黒姫は  
これから…あ♡

REC  
01:08:57

倍以上年の離れた  
中年のおじさんの  
おち…オチンポ  
と…んんう♡

一晩中♡何度も  
本気エッチ…  
しちゃうわね?  
い…いえーい♡

種付けおじさんの  
愛情たっぷりな  
絶妙な性技に  
あっさり  
らぶ♡らぶ陥落!

ズボズボ

ズボズボ



それから  
一夜明け――

ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ

チンポ♡  
おじさんチンポ  
ピュッピュ♡

ピュッピュ♡

ピュッピュ♡

ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ

なんて展開を  
期待されていた  
みたいだね？

邪な欲望が  
ツノにピンピン  
届いてきたよッ  
ヒューッ！  
モテモテだね

文……  
何マ私？